



スーパー伊勢湾台風 広域避難のルールは

佐藤 信男議員

上陸24時間前までに避難情報を発表

企画政策部長

問 防災ハンドブックの活用の周知は。

答 防災メールや公式LINEを活用し目を通すよう周知している。

問 豪雨時における河川堤防点検は。

答 大雨等の警報発令時には、非常配備体制を取り、危険箇所を巡回する。出水状況により消防団も水防活動を実施する。

問 流れてきた水が行き場を失いあふれ出るバツクウォーター現象が起こりそうな河川の合流点は。

答 日光川と領内川、日光川と三宅川のそれぞれの合流部である。

問 豪雨時におけるこの地域の雨量限界レベルはどれくらいか。

答 国県の河川整備は、30年に一度程度の豪雨に対応。30年確率の基準降

雨量は24時間で、270ミリ程度、ピーク時の1時間雨量は80ミリ程度である。

問 水害対策でスーパー伊勢湾台風の備えは万全か。大型台風の直撃時、広域避難を呼びかけるルールは。

答 進行方向、勢力、伊勢湾の潮位が一定基準を超えた場合、上陸24時間前までに広域避難情報を発表する。

中央図書館の
長寿命化や
工事計画は

問 樹木の剪定や芝の刈り込みなど、年間何回くらい実施か。

答 樹木の剪定は、年2回。芝の刈り込みは、年3回。

問 電子書籍の導入は。

答 今後、ランニングコストや市民のネットサービス利用状況などを踏まえ検討する。

問 中央図書館は、建築後何年経過しているか。

答 26年経過している。

問 中央図書館の長寿命化対策や工事計画の内容は。

答 指定管理者と協議しながら長寿命化を進めていく。また、令和3年度に外壁等修繕工事、4年度には、空調設備の改修を予定。



▲心配される日光川と領内川の合流地点